

第16回ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール



賞状を手にする代表生徒と教員ら

文部科学大臣賞

日出学園中・高

同コンクールは、情報モラルや情報セキュリティの意識を高めることを目的に、全国の小・中学生と高専生を対象に毎年開催。標語「ポスター」「4コマ漫画」「書写(硬筆)」「活動事例」の5部門があり、活動事例部門では12校の応募があった。同校が受賞したの

日出学園中・高(市川市菅野)がこのほど、情報処理推進機構(IPA)主催の「第16回ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」の活動事例部門で最高賞の文部科学大臣賞を受賞した。生徒たちが自分で考え、生活の中うまく知識を取り入れたことが評価された。

は、中学1年〜高校2年の「総合的な学習の探究」の時間」と、高校3年の選択科目「情報の科学」での取り組み。総合的な学習の時間では、オンライン授業では、オンライン授業で使ったツールの使い方を生徒たちが調べ、その内容をまとめた『オンライン授業「困った!」ラック2020』を制作して高校3年生を除く全校生徒に配布した。情報の科学の授業では、各自が作った偽のネット広告を皆で見つて、「不利になりそう」「何が小さく書かれている」「目立つキヤッチコピーがある」など、注意点を個人個人でチェックリストにまとめた。

先月18日には同校で受賞式が開かれ、「情報の科学」履修者40人と教員らが出席。IPA Aの富田達夫理事長が生徒に表彰状を手渡しして祝福した。

同授業を担当する武善紀之教諭は、「今回の受賞は、私が授業を作るだけでなく、皆さんと一緒に授業をやれたことが大きい」と生徒たちに感謝。高校3年生たちは「こんなにすごい賞をもらえるなんて思ってもみなかった」と喜んでいった。